

ベトナムで人材発掘



ベトナム人学生でにぎわうジョブフェア
の会場＝ハノイ工科大学（関彰商事提供）

企業と学生の懸け橋

ムエンジニア
として出勤
管理システム
の更新や開発に携わっている。3人は「将来はセキシヨウベトナムに勤務し、仕事と家庭を両立しながら日本とベトナムの懸け橋になりたい」との夢を抱く。

今回のジョブフェアは4月26日、同国の商業都市ホーチミンで初めて開催。セキシヨウキャリアプラスは「ベトナム人に限らず、優秀な人材を求めている企業は多く、日本国内外での採用支援に力を入れていく。外国人を採用するきっかけとなる場を提供することで企業の発展や人材確保の一翼を担いたい」と力を込める。

（第3火曜掲載）

今年、創業110周年を迎えた総合商社の関彰商事（本社筑西市）。県内外で各種事業を展開する傍ら、海外進出にも本腰を入れ始め、昨年8月、ベトナムの首都ハノイに現地法人「セキシヨウベトナム」を設立。人材紹介や人材採用コンサルティングのほか、オフショア開発や日系企業、現地企業向けのシステム開発事業を手掛けている。

今年、創業110周年を迎えた総合商社の関彰商事（本社筑西市）。県内外で各種事業を展開する傍ら、海外進出にも本腰を入れ始め、昨年8月、ベトナムの首都ハノイに現地法人「セキシヨウベトナム」を設立。人材紹介や人材採用コンサルティングのほか、オフショア開発や日系企業、現地企業向けのシステム開発事業を手掛けている。

主要事業の一つが、日系企業とベトナム人学生のマッチングの場となる合同企業説明会・面接会「ジョブフェア」。経済成長著しい同国に進出する日本企業が近年増加しているのを背景に、優秀なベトナム人学生の獲得を希望する日系企業と、日本企業で働きたいベトナム人学生の仲介役となるのが狙いだ。

グループ会社のセキシヨウキャリアプラスが長年、県内の大学などで企業説明会の運営をしてきた実績やノウハウを足掛かりに、2016年11月、第1回のフェアを開催。これまでハノイ工科大を会場に計3回（5日間）開催し、同国入学生や既卒者など延べ約1

関彰商事（筑西市）

第2部 チャレンジ

茨城から世界へ
挑戦する企業たち

◆3◆

500人が来場した。企業との面接に臨んだ学生も多く、就職が決まったケースも出ている。

本年度、関彰商事に採用されたベトナム人社員3人のうち、レ・ティ・ニュさんとブイ・ミン・トゥさんは、ジョブフェアに参加したのがきっかけで昨年9月に入社。もう一人のダン・ヴェト・タンさんは、県などが主催するバスツアーで同社のグループ会社を視察したのが縁で入社した。

ビジネスソリューション部のタンさんはマーケティング活動を担当。総合企画部のニュさんは、ベトナムでの事業拡大に向けた調査研究に取り組み、システムソリューション部のトゥさん